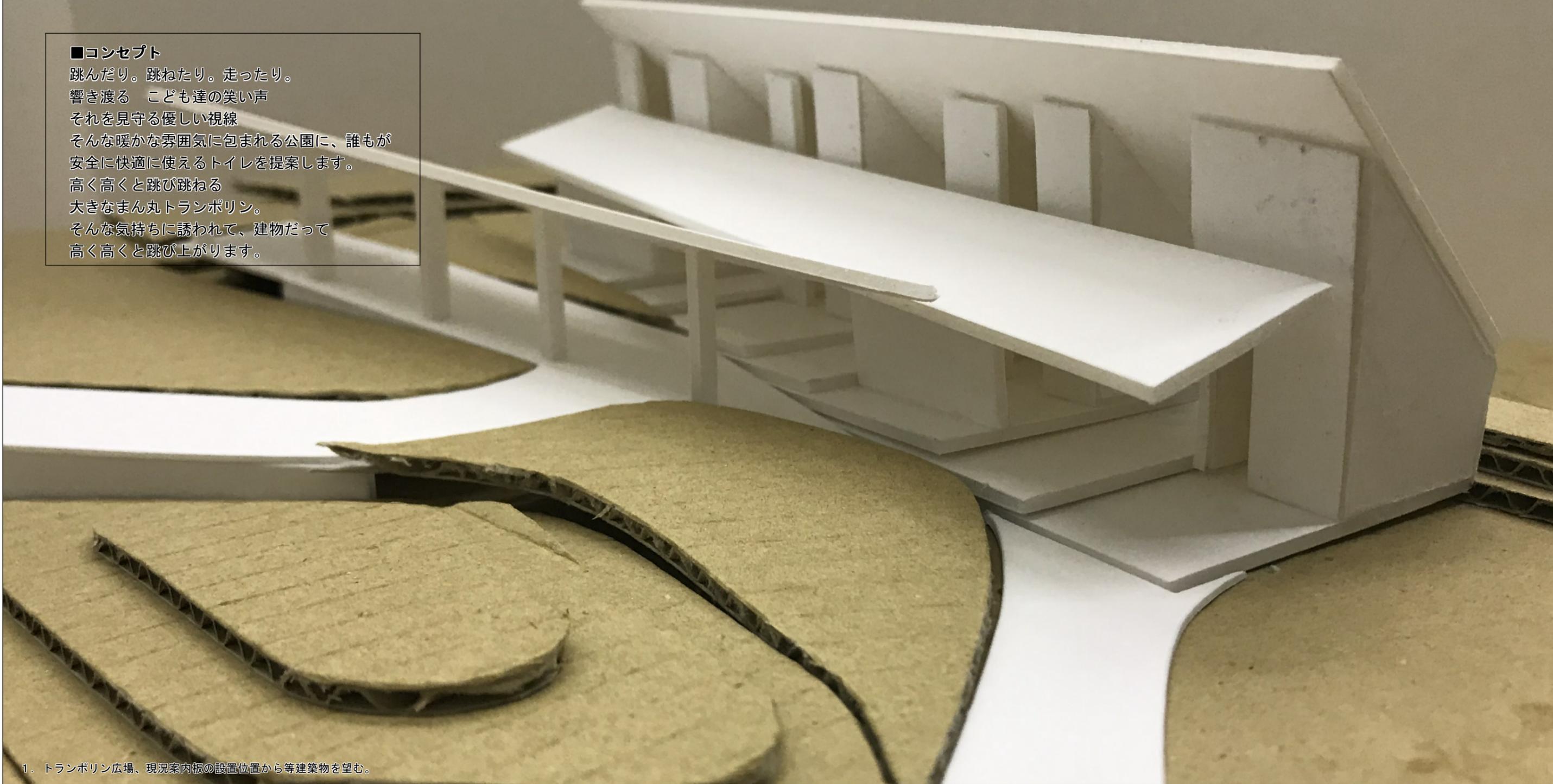


# 伸び上がりのあるトランポリン遊具広場のトイレ

## ■コンセプト

跳んだり。跳ねたり。走ったり。  
響き渡る こども達の笑い声  
それを見守る優しい視線  
そんな暖かな雰囲気にもまれる公園に、誰もが  
安全に快適に使えるトイレを提案します。  
高く高くと跳び跳ねる  
大きなまん丸トランポリン。  
そんな気持ちに誘われて、建物だって  
高く高くと跳び上がります。



1. トランポリン広場、現況案内板の設置位置から等建築物を望む。



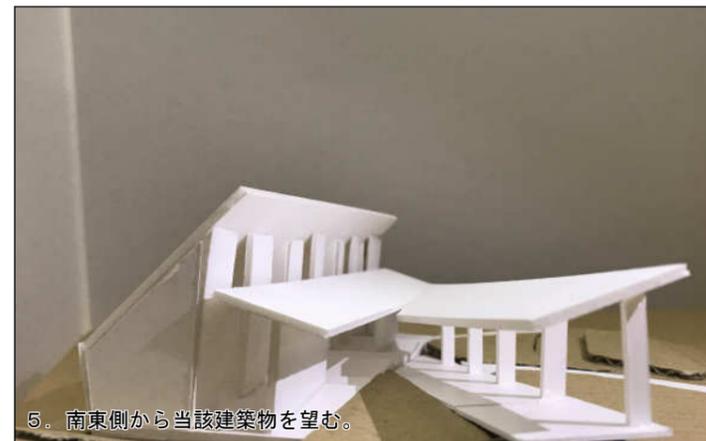
2. 多目的トイレへの通路から望む。



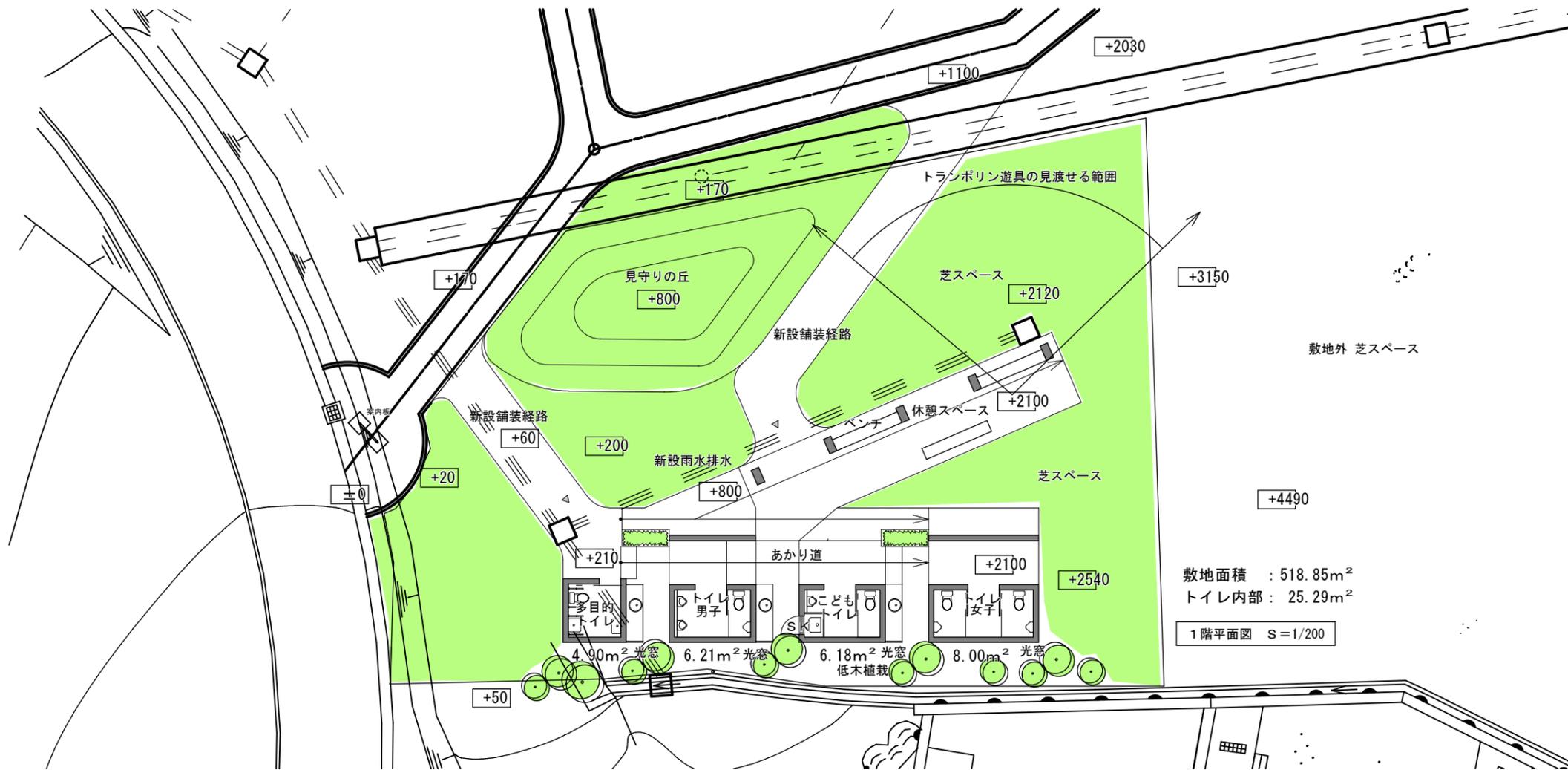
3. トランポリン広場通路中央から望む。



4. 休憩スペースから当該建築物を望む。



5. 南東側から当該建築物を望む。

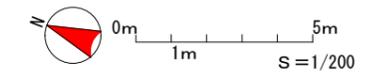


**■利用形態**

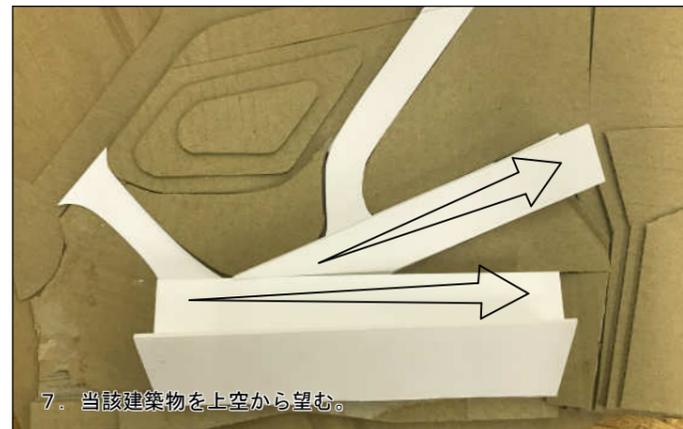
さまざまな方が利用することを想定し、多目的トイレ以外に、こども用トイレも設けた。配置は両親のどちらが付き添っても心理的障害が少なくなるよう、中間に設けた。また、こども用トイレは周囲からの見守れるような配置とした。ハイサイドライトを取り入れることで、こどもの心理的な障害となる暗いトイレではなく明るく開放的な空間とした。また、見せるところは見せ、隠すところはしっかり隠すことにより、大人でも利用しやすい配置とした。

**■安全面**

トランポリン広場から視認しやすい造りとし、広場へ開けた外観としました。それにより、子どもがトイレを利用する際、保護者の視界から消えにくい造りとしました。



6. 南東側芝生から当該建築物を望む。



7. 当該建築物を上空から望む。

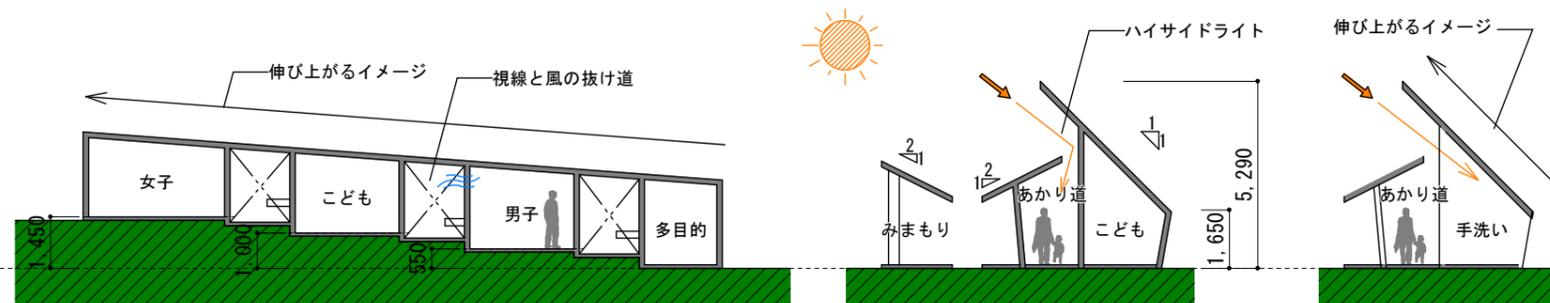
矢印のようにハイサイドライトを利用した伸び上がりを演出した。さらに傾斜を利用した構成とし、トランポリン広場へ伸び上がりをイメージした。

**■外構計画**

建物施工時に排出する掘削土を敷地前面に盛りあげ、芝を植えることで「見守りの丘」として新たな役目を担ってもらう計画とする。そこでは、登ったり、腰掛けたり、寝そべったりと、これまでのこの地の使われ方を踏襲するような丘とします。又、敷地の水下となるこの位置を盛り上げ、水みちを操作することで、排水し易い敷地となるよう計画した。

**■建物形状**

建物の床は敷地の高低差を考慮し、長辺側を段々状とすることで、敷地に沿うような計画とした。また、短辺側は壁や屋根を外に膨れるように傾斜させることで、ハイサイドライトから取り込んだ光と風が建物内に溢れるような計画とした。また、トイレ内部は南西側に開口を計画することで、明るく快適な空間を演出する。



断面図 S=1/200

**■構造計画**

平屋建てとし鉄筋コンクリート壁式ラーメン構造を採用する。

**■建築概要**

建築面積 : 61.38m<sup>2</sup>  
 床面積 : 25.29m<sup>2</sup>

イメージ 南西側から当該建築物を望む。

